

平成 18 年 5 月 8 日
農 林 水 産 省

平成 17 年度市販輸入野菜等に関する残留農薬実態調査の結果の概要について

独立行政法人 農林水産消費技術センターは、「市販輸入野菜等の残留農薬実態調査実施要領（平成 16 年 6 月 22 日 16 消安第 2576 号。消費・安全政策課長通知）」に基づき、(1)FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議（JMPR）において急性参照量が定められている農薬の残留実態調査と(2)輸入野菜等の残留農薬実態調査を行っています。

平成 17 年度の調査結果を取りまとめましたので報告します。

・急性参照量が定められている農薬の残留実態調査の結果について

本調査は、平成 16 年度から 3 年間かけて十分なサンプルを分析することとしており、平成 17 年度の調査結果については、中間的な報告として結果を公表します。

なお、正式な調査結果については、十分な分析データを蓄積し適切な検討を行った上で公表する予定です。

急性参照量とは、短期間（普通は 1 日）に摂取しても、健康上の悪影響を被ることのない、食品ないし飲料水中の物質量の推定値。[mg/kg bw]で表される。

○調査結果

1 食品衛生法に定められた残留農薬基準値を超過した検体はなかった。

2 農薬の検出状況

生鮮野菜(ブロッコリー：40検体)

原産国	農 薬 検 出 状 況					
	検出農薬	定量された検体数	検出濃度 (ppm)	定量限界 (ppm)	検出限界 (ppm)	残留農薬基準値等 (ppm)
中国	オキサリジン	1	0.01	0.01	0.005	5(保留)

表の中の残留農薬基準値等の欄の(保留)は、農薬取締法の農薬登録保留基準値。

生鮮果実(オレンジ：40検体)

原産国	農 薬 検 出 状 況					
	検出農薬	定量された検体数	検出濃度 (ppm)	定量限界 (ppm)	検出限界 (ppm)	残留農薬基準値等 (ppm)
アメリカ	シプロトリン	17	0.01～0.4	0.01	0.005	1(残)
	ジノール	3	0.02～1.4	0.02	0.01	-
	ブプロフェン	2	0.01～0.05	0.01	0.005	2(保留)
	フェニプロト	2	0.2～0.4	0.01	0.005	2(保留)
	アジキストロビン	1	0.52	0.01	0.005	-
	カルバリン	1	0.39	0.02	0.01	-
	ダイアジノ	1	0.03	0.01	0.005	0.1(保留)
	テフルブスロ	1	0.3	0.02	0.01	1(残)
	ピリタベン	1	0.01	0.01	0.005	2.0(残)
	メダチオン	1	0.2	0.01	0.005	5(保留)

表の中の残留農薬基準値等の欄の(残)は、食品衛生法の残留農薬基準値。(保留)は、農薬取締法の農薬登録保留基準値。

残留農薬実態調査結果について

1 調査結果の概要

種 類	検体数	食品衛生法に基づく残留農薬基準を超過した事例
生鮮野菜	2 3 9	0
冷凍野菜	2 1 0	0
生鮮果実	7 9	0
きのこ類	3 0	0
合 計	5 5 8	0

2 . 食品衛生法に定められた残留農薬基準値以下等の農薬の検出状況

生鮮野菜（合計：2 3 9 検体）

原 産 国 (国別検体数合計)	分 析 品 目	検体数	残留農薬基準値以下等の 農薬検出状況 (検出農薬数)
アメリカ (16)	たまねぎ	8	検出せず
	ブロッコリー	8	検出せず
韓国 (24)	トマト (ミニトマトを含む)	8	トリフルミゾール(1)、フロシミドン (2)、アゾキシストロビン(1)、ピリダ ヘン(1)
	ジャンボピーマン	8	アゾキシストロビン(1)、クロルフェナピ ル(5)、フロシミドン(2)、メフロニル (1)、ピリダヘン(1)
	ししとうがらし	8	クレソキシムメチル(2)
中国 (119)	にんにく	8	検出せず
	ねぎ	8	トリアジメノール(1)、トリアジメホン(1)
	たまねぎ	8	検出せず
	ブロッコリー	8	フロシミドン(1)、クロルフェナピル(1)
	にんじん	7	トリアジメノール(2)、トリアジメホン(2) 、ハクロフトラゾール(1)、ホレート (1)
	ごぼう	8	検出せず
	さやえんどう	8	トリアジメノール(3)、トリアジメホン (3)、フロシミドン(4)
	スナップえんどう	8	トリアジメノール(2)、トリアジメホン (2)、フルフェノクスロン(1)、フェンハレ レート(1)、シベルメトリン(1)、シメ エート(1)、ヒフエントリン(1)、
	さといも	8	検出せず
	しょうが	8	検出せず
	にんにくの芽	8	フロシミドン(1)
	れんこん	8	検出せず
	やまのいも	8	検出せず
	たけのこ	8	検出せず
	くわい	8	メタミトホス(6)、トリアジメノール (1)、トリアジメホン(1)

タイ (16)	アスパラガス	8	アセフェート(1)、メタミトホス(1)
	オクラ	8	検出せず
フィリピン (16)	アスパラガス	8	検出せず
	オクラ	8	シハルメトリン(1)、メタミトホス(1)、 テブフェノシド(2)
ニュージーランド(16)	たまねぎ	8	検出せず
	かぼちゃ	8	検出せず
メキシコ (25)	かぼちゃ	9	検出せず
	メロン	8	エンドスルファン(4)、フェントエート(1)
	アスパラガス	8	検出せず
トンガ (7)	かぼちゃ	7	検出せず

冷凍野菜（味付けを含まない）（合計：210検体）

原産国 (国別検体数合計)	分析品目	検体数	残留農薬基準値以下等の 農薬検出状況 (検出農薬数)
中国 (157)	えだまめ	10	ヒリダベン(1)、シコホール(1)、トリアジメノール(1)、トリアジメホン(1)、 フェンバレレート(1)、フェンプロパトリン(1)
	さやえんどう	10	プロシミドン(1)、メタミトホス(2)、トリアジメノール(1)、トリアジメホン(1)、
	いんげん	10	シメエート(1)、フェンバレレート(1)、メタミトホス(1)、シハルメトリン(1)、 ハラチオン(1)、フェントエート(1)、シコホール(1)
	そらまめ	10	検出せず
	カリフラワー	10	検出せず
	さといも	10	フェントエート(1)
	にんじん	10	ベンダイオカルブ(1)
	にんにくの芽	10	プロシミドン(1)
	馬鈴しょ	10	検出せず
	ブロッコリー	5	検出せず
	ほうれんそう	7	検出せず
	こまつな	10	クロルフルアスロン(1)、メタラキシル(2)、 クロルフェナビル(1)、クロルピリホス(1)
	れんこん	10	検出せず
	オクラ	5	検出せず
	ごぼう	10	検出せず
	ねぎ	10	メタミトホス(1)、クロルピリホス(1)、 シハルメトリン(1)、トリアジメホン(1)
	いちご	10	イプロベンホス(1)、シコホール(1)、 ハクロフトラゾール(1)、プロシミドン(2)
台湾 (16)	えだまめ	10	検出せず
	ほうれんそう	6	クロルフルアスロン(1)、シハルメトリン(1)、 クロルフェナビル(1)

タイ(25)	えだまめ	10	シハ ^ル メトリン(1)
	いんげん	10	メソミル(4)、トリアシメノール(2)、トリアシメホン(2)、シハ ^ル メトリン(2)、クロルピリホス(1)
	オクラ	5	検出せず
チリ(4)	ほうれんそう	4	検出せず
インドネシア(3)	ほうれんそう	3	シハ ^ル メトリン(1)
メキシコ(5)	ブロッコリー	5	シハ ^ル メトリン(1)

生鮮果実（合計：79検体）

原 産 国 (国別検体数合計)	分 析 品 目	検体数	残留農薬基準値以下等の 農薬検出状況 (検出農薬数)
アメリカ(24)	グレープフルーツ	8	フルハ ^リ ネート(1)
	オレンジ	8	クロルピリホス(3)、メチダ ^チ オン(3)、フェニソ ^フ ロモレート(1)
	レモン	8	クロルピリホス(4)
台湾(8)	バナナ	8	検出せず
タイ(11)	マンゴー	4	アゾ ^キ シストロピ ^ン (1)
	マンゴスチン	7	検出せず
フィリピン(20)	バナナ	8	クロルピリホス(3)
	パインアップル	8	トリフルミゾ ^{ール} (2)
	マンゴー	4	アゾ ^キ シストロピ ^ン (2)
ニュージーランド(8)	キウイフルーツ	8	検出せず
エクアドル(8)	バナナ	8	クロルピリホス(1)

きのこ類（合計：30検体）

原 産 国 (国別検体数合計)	分 析 品 目	検体数	残留農薬基準値以下等の 農薬検出状況 (検出農薬数)
中国(20)	生しいたけ	20	検出せず
韓国(10)	マッシュルーム	10	検出せず

食品衛生法に定められた残留農薬基準値とは、農薬が残留している食品を食べることにより摂取される農薬量を試算し、それが許容1日摂取量（ADI）を超えないように設定されている。

（ADIとは、人がある物質の一定量を一生涯にわたって摂取し続けても、現時点でのあらゆる知見から見て、認めるべき健康への悪影響がないと推定される一日当たりの摂取量）

検体数とは買い上げた食品の数である。

○問い合わせ先
消費・安全局
消費・安全政策課
担当者：荒牧、瀧沢
電話：03-3502-8111
内線：3074・3075
直通：03-3502-5716